

生きている音を聞いてみよう

— ALS準拠データのデジタル機器による再生 —

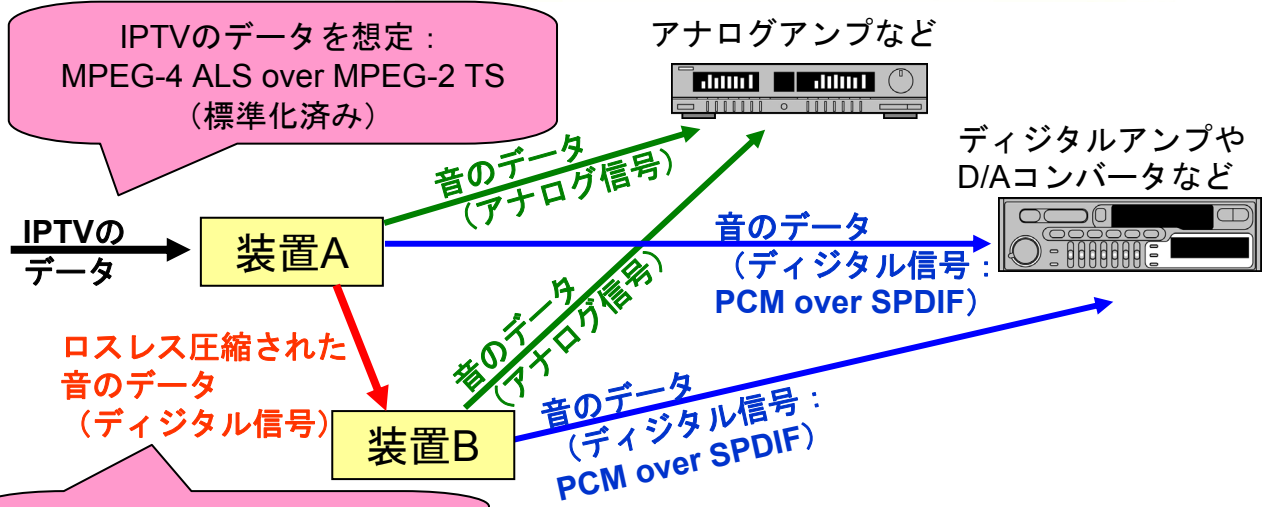
どんな研究？

- ・国際標準技術の音響ロスレス符号化 (MPEG-4 ALS) に準拠したデジタルオーディオ機器の試作機を紹介します。
- ・近い将来、皆様に使っていただけるように機器への実装を行っています。圧縮しても原音を復元できるので高品質の音を楽しめます。

もたらされる変革

- ・圧縮しても劣化することが無いので、安心して音を伝えることができるようになります。また、そのままの音を未来へ伝えることができるようになります。
- ・携帯音楽プレーヤでも再生できるので、皆様には是非使っていただきたいです。

・ネットワークを通してテレビやラジオを楽しむ時代がやってきます。そのために標準化を通して皆様に使っていただけるための準備をしています。



・PCM：CDなどで使われているアナログ信号をデジタル信号に変換する方式

- ・IPTV：ひかりTVのようにネットワークを使ってテレビを視聴できるようにする技術
- ・IEC（国際電気標準会議）：電気・電子分野の国際規格を作成する機関
- ・SPDIF：光や同軸の端子で音響機器等を接続しデジタル信号を伝送するための規格



関連文献

N. Harada, T. Moriya, Y. Kamamoto, "An Implementation of MPEG-4 ALS Standard Compliant Decoder on ARM Core CPUs," AES 121st Convention (Paper #7625), San Francisco, USA, October, 2008

T. Liebchen, T. Moriya, N. Harada, Y. Kamamoto, Y.A. Reznik, "The MPEG-4 Audio Lossless Coding (ALS) Standard - Technology and Applications," AES 119th Convention, New York, USA, October, 2005.

連絡先: 鎌本優 (Yutaka Kamamoto)
守谷特別研究室